

防府市高齢者保健福祉推進会議 会議録

日時：令和5年6月1日（木）午後2時～3時40分

場所：防府市文化福社会館3階4号第会議室

報告事項

（1）地域密着型サービス事業所の指定更新について

事務局より資料1に沿って説明

（2）地域密着型サービス事業者の公募について

事務局より資料2に沿って説明

（3）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について

事務局より資料3に沿って説明

質疑応答

A委員 アンケート調査の対象者が無作為で2,200名とあるが、防府地域16地区の人口比に合っているのか。偏ったサンプルになってはいないか。それが第1点。また、アンケート調査で調べた本当の意見というか、個別の意見も聞いているのか、この2点を聞きたい。

事務局 サンプルについて、4ページに各地域の2,200人に送り、返送された1,639人についての地区の内訳がある。無作為に抽出して地区ごとにバランスをとって2,200人に送っており、ばらつきはないものと考えている。個別の意見についても、冊子の後ろにある調査票の調査項目に、「その他」として書く欄があり、この「その他」欄については、1人ずつの意見を取りまとめて集計し、把握している。

（4）防府市高齢者保健福祉計画（第10次計画）の作成スケジュールについて

事務局より資料4、当日資料に沿って説明

質疑応答

会長 いろんな情報が飛び込んできたので、冷静に読み込んでいただいて、気づきがあれば、皆さんからの意見を提出するということをお願いしたい。話を聞いていると、訪問介護が弱いから強化するのかな、でも、高齢化が進んでいるのか、ならどうなのかなと、モヤモヤしている。

A委員 昨年度に比べて98%に介護人材は減ったということだが、サービスの内容も減るなら問題がある。しかし、ただ人材が減っただけなら、効率化で人材が減ることもあると思う。実際、人材が減ってサービスが低下し利用者さんに負担がかかる状態なのか、どうだろうか。

- 事務局 当日資料4「介護人材実態調査」の12ページの「介護職員数の変化」で全体として昨年比100%を切っていることを指しているのだと思う。内訳を見ると、通所系の非正規職員が91.3%と一番少なくなっているのが数字として出ている。それがサービスの低下とか、そういった何かに繋がっているかどうかは、まだ今現在、なんともわからない。数字が結果として上がってきているという状況で、今後、計画作成に向けて、実態がどうなのかを、調査したいと思う。
- B委員 当日資料5「介護保険施設等入所申請待機者調査報告書」について、詳しい資料でとても分かりやすく、細かく調べてあるなというのが実感だ。調査期間は今年の1月23日から2月10日までの調査だが、昨年も調査しているのか。
- 事務局 計画策定の前年度に実施しており、3年に1回の実施となるので、前回は令和2年の1月31日時点の集計となっている。
- B委員 ありがとうございます。先ほどA委員がおっしゃったように介護の人材、介護職員数が少し減ってきていることによって、例えば3年前の調査と比べて、介護の人材が不足し人員配置が厳しいから、施設としての建物はあっても、部屋数の稼働を抑えているとか、グループホームでも、定員を割って受けるしかないということがあるのかどうか。
- 要は、施設の中で待機者の人数はわかるけれど、稼働率というか施設での受入れが定員のどのくらいなのか。人材のせいで受けられないことがあるのかどうかを聞いてみたい。
- 事務局 待機者調査の数字には、介護人材の不足の影響が出ているとは考えにくい状況だ。というのも、前回は500数名程度の待機者の数で、今回は380名程度に減っているためである。したがって、介護人材の不足がそこに影響しているというのは考えにくいのではあるが、実際に稼働率で見ると、集計している結果からは、数%下がっているのが現状。ただし、介護人材不足によることなのか、コロナの影響なのかは不明である。
- B委員 ありがとうございます。待機者は3年前に比べて人数は減っているが、あとは先ほどの他のところでもあったように、入所の申し込みをしていない人もいるということで理解した。
- C委員 こんな質問していいかわからないのだが、やはり緊急性ということが考えられると思う。待機者の緊急性によっていろいろあると思うのだが、1住民として、現状は大丈夫だろうか。
- 事務局 申し込みがあった利用者の優先順位というのは各施設が決めることなので、市は実態を把握しておらず、お応えが難しい。
- D委員 私は小規模多機能型に勤めており、所属している法人の特別養護老人ホームには、事務局が言われたように判定基準がある。判定基準には申込み順もあるが、緊急性のある方は得点が高く出るようにしている。このように

施設単位では考慮していると思う。ただ、緊急の度合いが高いという場合は、各包括支援センターに相談されるとよろしいのではと思う。

会長 そのほかにも気付いたことについては、先ほど言われた用紙に記入していただいて、後日提出いただきたい。

(5) 地域包括支援センターの運営状況について及び、  
地域包括支援センター受託法人の公募について

事務局より資料5、資料6に沿って説明

質疑応答

A委員 災害時に要介護の人に対して、安否確認は取れる者がやるとなっているのだが、地域の自治会長の一部では、それならケアマネジャーがやるのではないかという意見がある。要介護の人にはケアマネジャーがついているので、災害時に何かあったらケアマネジャーに連絡したい。しかし、自治会長はそのケアマネジャーが誰かということを知らない。また、施設はあっても、その施設にいるケアマネジャーの名前も知らないというのが現状で、ケアマネジャーに連絡したくても、連絡できないという状況。今、ケアマネジャーがどのくらいいて、どのくらいの要介護者の人数を受け持っているのか。実態はどういう状況なのかというのを、説明していただきたい。

事務局 確かに災害時の対応については、高齢者の皆さん、また地域の皆さんは心配されていることだと思う。市でも避難行動要支援者名簿の整備や、個別避難計画の作成など、今、検討を進めているところである。また、ケアマネジャーがついて要介護を必要とする高齢者については、ショートステイを使われるという方もおられるので、介護を必要とする人たちがどうやって万が一のときに避難するのかは、検討している段階である。今後、自治会の方にお話させていただくことになるので、ご協力をお願いしたい。また、居宅介護支援事業所、ケアマネジャーのいる事業所については、42事業所、小規模多機能型居宅介護は8事業所、看護小規模多機能型居宅介護は3事業所である。

A委員 1人のケアマネジャーが何人の方を見ておられるのか。

事務局 運営基準上は、居宅介護支援事業所の1名のケアマネジャーが見ることができるのは、35名までと決められている。先ほど当日資料3「在宅生活改善調査」の集計結果で報告したとおり、今現在、57事業所にいる175名のケアマネジャーが在宅で過ごしている方4,482名を受け持っている。ただ、これはあくまで市内の事業所のケアマネジャーが受け持っている方のみであり、市外の居宅介護支援事業所のケアマネジャーが受け持たれている方は含まれていないため、実際の認定を受けている方よりは、人数が少なくなっている。

A委員 1人のケアマネジャーが30名程度を担当しており、災害時にケアマネジャーにお願いできないという状況はわかった。自治会の方で、要介護者を何とかしようという状況はわかった。

E委員 県としては、今年、第8次の保健医療計画の策定の年で、5疾病5事業から、5疾病6事業に在宅医療が加わっている。保健医療計画は、向こう6年あるので医療と福祉保健介護の連携が大事だと思っている。在宅医療の医療計画の策定に当たって、現場の声をいただきながら、計画の中に何かできることがあれば訴えていきたいと思っている。

それと、先ほどのエンディングノートは、私自身も非常に興味があって、5、6年前からACP（アドバンス・ケア・プランニング＝人生会議）の役を拝命しており、何かお手伝いできることがあればと思っている。これもコロナである日突然、陽性になった時に、前もってどんな話し合いをされていたかという、ほぼされてない人ばかりだったため、非常にこれから大事なところだと実感している。

会長 資料5「令和5年度地域包括支援センターの重点項目」にある「認知症の人本人の声をきき、本人の声を反映させた取組を推進する」に、興味があるのだが、難しそうだなと思う。今、具体的に何かを進めるとかがあればお願いしたい。

事務局 令和4年度に認知症専門のプレミアムオレンジドクターの先生にご協力いただいて、認知症の高齢者の方の声を市にいただくことができている。また、地域包括支援センターが関わる認知症の方が言われた言葉を今、市で取りまとめをしており、地域に発信していきたいと思っている。それを受けて市の認知症施策も組み立ていきたい。

また、認知症カフェなどの地域の集いの場でも、さりげなくその人に寄り添いながらお話を聞いていくところからしていきたい。

会長 ありがとうございます。楽しみに待っている。

B委員 今回の会長さんのご意見とかご質問を聞いて、今回の会議に「あじさいの会（防府市認知症を支える家族の会）」の方は欠席だが、山口県とか日本全国には、「認知症の人と家族の会」というのがある。今回、山口・防府ブロックの代表に防府市の方がなられたので、そこを入れてみるのもどうかと思った。

事務局 ありがとうございます。「あじさいの会」の委員がいるので、検討しながら、「認知症の人と家族の会」防府事務所に連絡を取ってみたいと思う。

次回の会議開催の予定について